

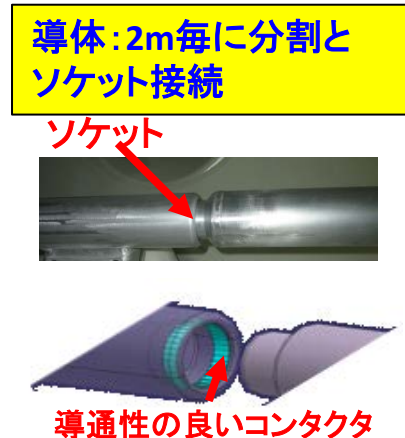
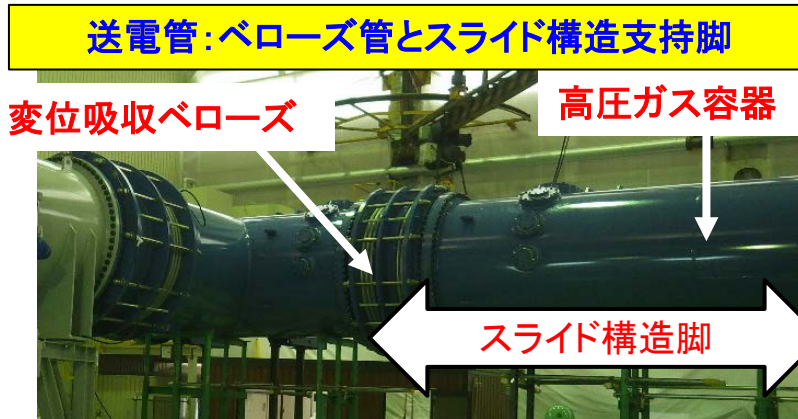
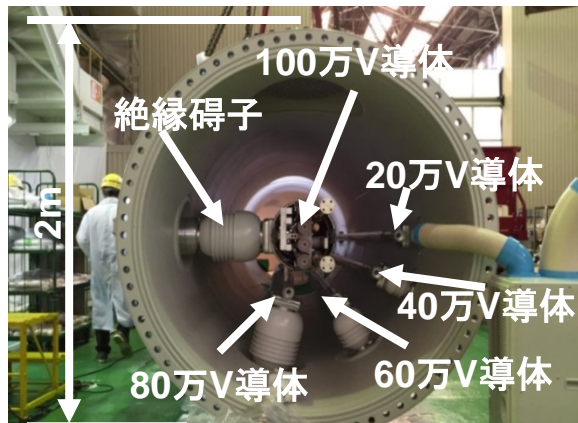
# イータープラズマ加熱装置の超高電圧電源の開発を完了、イタリアへ搬出開始 —核融合燃焼の実証に向けて、大きなマイルストーンを達成—

イーターでは、20万ボルトから100万ボルトの異なる電位の電力を、建屋を貫通させて送電するため、従来の直流送電技術で必要となる絶縁スペースを大幅に低減することが必要。

絶縁距離が1/5の高圧絶縁ガスの容器内 (接地電位) に高電圧導体を収納。



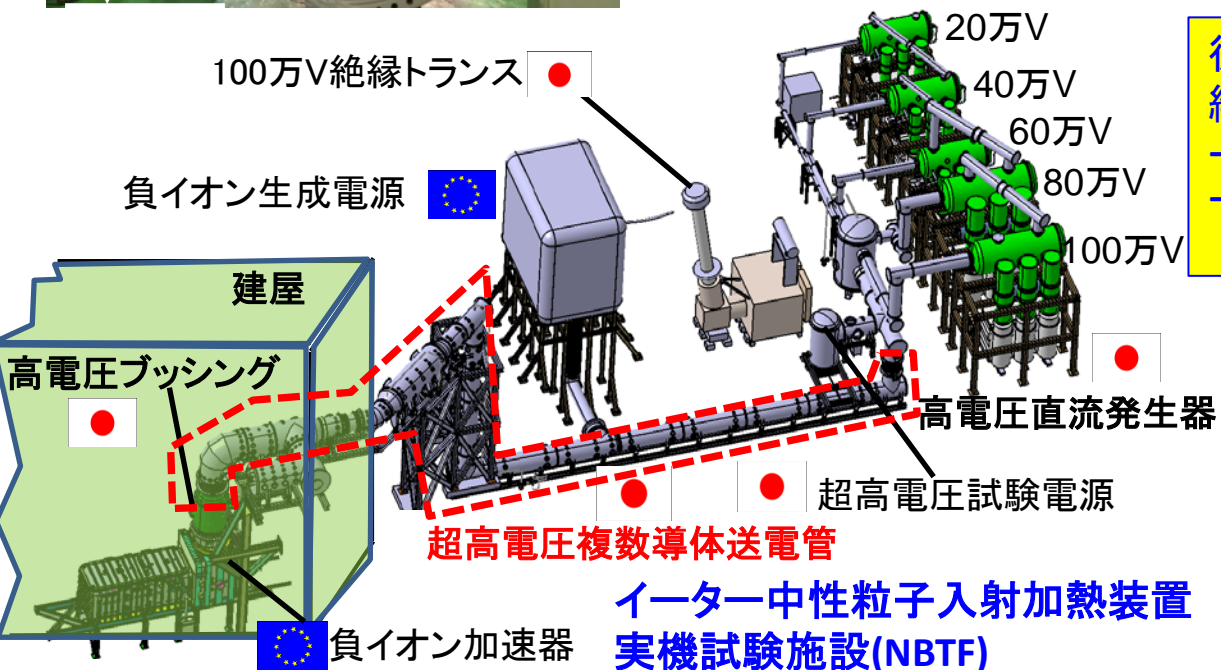
通電中の熱伸びや地震による機器の変位で、機器や建屋貫通部が破損



従来技術で必要なサイズの1/10に縮小することに世界で初めて成功。  
→イーターNBの超高電圧電源の開発完了。  
→イーターによる核融合燃焼の実証につながるマイルストーンを達成。

本技術は、高エネルギー大電流加速器の電源システムのコンパクト化にも展望を拓くことが期待。

<今後の予定>  
機器の輸送を開始し、H27年12月より、イーターに先行し、NBTFへの設置工事を開始。



イーター中性粒子入射加熱装置  
実機試験施設(NBTF)